Creative Enzymes®

ケラチナーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0853

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ケラチナーゼは、不溶性ケラチン基質を分解する能力を持つ特定のクラスの細胞外プロテオリティック誘導酵素です。これは、□水処理中に下水システムで□、羽毛、コラーゲンを加水分解するために重要です。また、食品産業や動物飼料の準備などにも役立ちます。家禽産業からの不溶性羽毛ケラチンは、酵素的加水分解によって接着剤、飼料、肥料、フィルムに□換されるか、希少なアミノ酸であるセリン、システイン、プロリンの生産に使用されることがあります。
用途	ケラチナーゼは、クラミジア肺炎菌株による宿主細胞の侵入におけるグリコサミノグリカン（GAG）の役割を研究するために、基本体（EB）、GAG分子、および細胞の酵素処理に使用されました。
別名	ケラチナーゼ; KerA; バチルス・リケニフォルミス由来のケラチナーゼ; ケラチノリティックプロテアーゼ; EC 3.4.21

製品情報

由来	E. coli BL21
形態	凍結乾燥粉末
***EC*番号**	EC 3.4.21
分子量	~39 kDa
活性	300 - 1000 ユニット/mg
等電点	8.73
***pH*安定性**	5.5 - 12.5
最適pH	12.5
最適温度	37°- 70°C
活性化因子	0.10% SDS、1.0% CTAB、およびEDTA
阻害剤	トゥイーン20、DMSO、イソプロパノール、メタノール、エタノール
単位定義	1単位の酵素はカゼインを加水分解することができ、pH 7.5、37 °Cで1分あたり1μモル（181μg）のチロシンに相当するFolin-Ciocalteau試□の吸光度値を生成します。

使用法とパッケージング

調製方法	酵素は、無菌水またはリン酸緩衝液中で0.5-1.0 mg/mlに溶解できます。最良の活性は、新しく調製された溶液で見られます。ただし、ケラチナーゼ溶液の使い捨てアリコットは-20°Cで保存できます。

保管・発送情報

保存方法	-20°Cで保管してください